

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 平成16年9月30日(木)5校時
児童数 男 9名 女 9名 計18名
指導者 高橋和幸

1. 単元名 歯みがき指導隊大作戦

2. 単元について

(1) 単元設定の理由

総合的な学習の時間は、「自分で課題を見つけ、自ら学び自ら考える力」、「豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」などの、いわゆる「生きる力」の育成に大きく関わる時間である。

本校では、毎年5年生が「歯みがき指導隊」として、1年生から4年生までの児童の歯みがきの様子を調べ、みがき残しがないか確認したり歯ブラシのあて方をアドバイスしたりしながら、歯みがきすることの重要性や歯に対する認識を深める取り組みを行っている。この取り組みは、成すことによって学ぶ活動であり、活動する中で多くの課題に直面することになる。

本単元は、歯みがき指導隊の活動を一層充実させるために、これらの直面する課題をよりよく解決できるよう設定したものであり、この学習で学んだことは、自らの歯の健康づくりにも生かされるものと考えられる。

(2) 児童について

毎週火・木曜日に歯みがき指導隊の活動を行っている。事前に養護教諭や歯科衛生士の指導のもとで、はじめに自分の歯のみがき方について、歯ブラシのあて方や動かし方、歯垢のたまりやすいところなどを学習した。次に担当学年の指導のポイントや担当児童のみがき方を詳しく調べ、「自分たちがしっかり教えてあげなくては」という強い責任感と意欲を持ちながら活動をスタートした。

活動開始から1ヶ月が過ぎ、児童がどのような意識で取り組んでいるかを探るため、「歯みがき指導隊に関するアンケート」を実施したところ、「歯みがき指導隊は必要か」という質問に、18人全員が必要と答えた。理由として、「歯みがきを正しく教えることができる」「みんなの歯がきれいになる」「低学年が上手にみがけるようになる」「みがき残しがある」「口内小の子どもたちのむし歯が多くならないように」などが挙げられた。しかしながら、活動を重ねるうちに、「担当児童が普段からきちんとみがいていない」「担当児童がいうことをきかない」「指導するのに担当の子どもの歯がきれいにならない」などの悩みを持ち始めていることが明らかになった。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、歯みがき指導隊の活動という共通体験とアンケート結果をもとに、歯みがき指導隊の向上や直面している課題解決に向け、調べたいことや指導で工夫したいことを自分たちで決めることができるようにしたい。

本時は、自分たちで決めたテーマについて調べた結果を発表し合う場となるが、発表にあつ

ては、担当する下級生の興味・関心をどんな方法で高めるのか、実際の指導場面でどんな工夫をするのかについても示すことができるようにしたい。

3. 単元の目標

- ・歯みがき指導隊の活動を進める中での課題を見つけ、自らその解決策を考えたり、調べたりすることで、指導隊活動をより充実させることができるようにする。
- ・課題の解決に主体的に取り組むことを通して、自分の歯の健康づくりについても振り返り、よりよい実践をしていこうとする態度を育てる。

4. 指導計画と評価規準（計 13 時間）

段階	月	学習活動構想	時数	評価規準	備考
つかむ	7	ふれる（昼食後） 歯みがき指導隊活動（～2月） ・毎週火・木曜日に1年生から4年生の教室へ行き、歯みがき指導をする。 ・ファイルに活動の記録を記入し、次への活動へ活かす。	随時		・指導隊ファイル
	9	つかむ 課題づくり ・歯みがき指導隊の活動の向上させるための方法や直面している課題を見つける。	1	課題発見力 ・歯みがき指導隊の活動を向上やさせるための方法や自分が直面している課題を設定することができる。	・歯みがき指導隊に関するアンケート
ふかめる	9	ふかめる 課題追求 ・歯みがき指導隊においての自らの課題を解決するために、研究したいことや指導の工夫を考え、調べる。	10	実践力 ・自分の調べたいことを見つけ、活動することができる。 対人関係能力 ・友達と協力し、積極的に人とかわることができる。	・グループ活動（情報収集、インタビュー）
まとめる	9	まとめる 発表 ・自分たちで決めたテーマについて調べたことを発表する。また、指導隊での実践をふまえ、下級生の興味関心を高める工夫も示す。	1 (本時12/13)	発表・表現力 ・調べたことが相手に伝わるように発表することができる。	・発表会

10	<p>まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、まとめる。 <p>実践する（昼食後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき指導隊の活動時に、自分たちが調べたことを取り入れ、指導隊の活動を向上させる。 	1	<p>自己評価力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、反省することができる。 	振り返りカード
12	<p>口内保育園での歯みがき指導隊活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度小学校に入学する園児を中心に、歯みがき指導隊活動行い、歯みがきの大切さや歯みがきの仕方を教える。 	随時		

5. 本時の指導

(1) 目標

・歯みがき指導隊の活動をよりよくするための工夫について調べたこと、考えたことを相手にわかりやすく発表することができるとともに、友達の発表を聞いて感想を持つことができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
評価の観点			
発表・表現力	調べたことの何が大事なのかわかるようなまとめや発表の仕方を工夫することができる。	調べたことが相手に伝わるように発表することができる。	発表メモを再度確認させ、自信を持って発表できるよう励ます。

(3) 展開

段階	学習活動		教師の支援と評価	備考
	教師のはたらきかけ	予想される児童の反応		
つかむ2分	<p>1. 本時の学習内容を知る。</p> <p>・前時までの振り返りと本時の活動を確認する。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <p>歯みがき指導隊の活動をよりよくするための工夫を発表し合おう。</p>	<p>・歯みがき指導隊をもっとよくするため、担当児童に教えたいことをがんばって調べてきたなあ。</p> <p>・下学年にわかってもらうため、しっかり聞いてもらうための工夫もたくさん考えたよ。</p>	<p>・調べ学習の成果を出せるように励みます。</p>	
ふかめる38分	<p>3. 調べたことを4つのグループごとに発表し合う。</p> <p>・上手なみがき方</p> <p>・むし歯</p> <p>・よい歯ブラシ</p> <p>・鏡の使い方</p>	<p>・模型を使って教えるとわかりやすいなあ。</p> <p>・ブラシを強くあてすぎると歯ぐきを傷つけてしまうよ。弱すぎると歯垢が落ちない。</p> <p>・動かし方は鈴を使うとわかりやすいね。</p> <p>・みがく場所によって持ち方を変えようまくみがけるね。</p> <p>・低学年には紙芝居を使って、歯みがきの大切さを教えるといいね。</p> <p>・新しい歯ブラシと毛先が開いた歯ブラシとではこんなにみがき残しに差が出るんだ。</p> <p>・歯ブラシの大きさや毛先など自分にあった選び方を教えることも大事だね。</p> <p>・鏡を上手にを使って磨けばきれいにみがけるね。</p>	<p>・司会をする。</p> <p>・話す対象を明らかにして、発表させる。</p> <p>・これまで行ってきた調べ学習の過程が他の児童にも分かるよう、必要に応じて質問等を行う。</p> <p>(評) 調べたことを相手にわかりやすく発表することができたか。</p>	<p>・歯の模型</p> <p>・歯ブラシ</p> <p>・鏡</p> <p>・紙芝居など</p>
まとめ5分	<p>5. 発表会を振り返る。</p> <p>・感想発表をする。</p> <p>6. 教師のまとめを聞く。</p>	<p>・発表を聞いて初めて知った。</p> <p>・歯みがき指導隊の時に実際にやってみたい。</p> <p>・他のグループが考えたことも自分の担当学年でためしてみたい。</p>	<p>・調べ学習や本時の取り組みを評価し、今後の活動への意欲化を図る。</p>	

第5学年総合歯と口のアンケート

名前()

1. 歯みがき指導隊は、必要ですか。

はい

いいえ

どちらともいえない

2. それはなぜですか。

3. 歯みがき指導隊をやっていてよかったことは何ですか。

4. 歯みがき指導隊で、分からないことや悩み、問題はなんですか。

5. 担当の子は教えたことをちゃんとやっていますか。

きちんとできている

あまりできていない

ほとんどできていない

6. それはなぜだと思いますか。

7. その子（学年）にあった教え方ができていますか。（言葉づかい、話すスピード、わかりやすいことばなど）

8. 指導の成果は現れていますか。（教えたとおりみがいている、みがき残しが少なくなった、歯がきれいになったなど）

9. その他、歯みがき指導隊で気がついたこと、感想などでもいいです、何でもかいてみましょう。